

2023年10月25日20時08分 配信

今、日本のための最優先課題は「岸田文雄・対策」。その成果が少しずつ出てきているようです。

藤井聡・クライテリオン編集長日記 ～日常風景から語る政治・経済・社会・文化論～

絶望的な記事しか目にしない今日のこの頃ですが、久々に少々気分の良い記事がありました。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d186bdeddfedac07e91255c47828679270716d7b>

ホントか嘘か分かりませんが、ようやく岸田文雄氏が、自らの人気の無さを認識し始めたようなのです。で、官邸の中には、「不人気」すぎるが故に、「解散どころか総辞職を迫られる」のではないかと、という声すらでてきたとのこと。

「そんなの当たり前だろ、今頃気付いたのか！？…

遅いよ、ホントにコイツ、バカなんだなあ…（しみじみ）」という話ですね（^-^*）。

そもそも当方がネットやメディアで様々な情報を配信しているのは、基本的に全て、「日本を救う」という大目的に向けた様々な取組の一環なのですが、その中でも、この1、2年、特に重視している取組が、

「岸田文雄おろし」

でした。

というのも、岸田文雄が総理大臣になってしばらく様子を見てみたところ、この男、マジで、クズ中のクズであり、コイツが総理を続けている限りにおいて日本が救われるなんてことは万に一つも無いし、むしろ、あらゆる売国行為を繰り返し、2, 3年経てば取り返しが付かないほどの巨大被害を日本が被ることは間違いないだろう、ということがハッキリとしたからです。

で、そんな当方の思いを最も的確にとりまとめたものが、下記の表現者クライテリオンの今年の5月号でした。

『「岸田文雄」はニッポンジンの象徴である

～"依存症"のなれの果て』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B0BYYQZMKNK>

この特集は、岸田文雄っていうのは、ホンットに自分ではな～んにもものを考えることができないバカで、他人に依存してばっかで、そのくせエラくなりたいっていう気持ちだけ有る、ホンットにクズ中のクズだってことを、余すところなく表現し尽くそうということで、編集したものです。読んで頂ければ、心底、岸田の事が嫌いになること請け合いの特集なのですが…残念ながら、あまり売れない号、となりました。

ちなみに、岸田については、クライテリオンでは実に3回も（！）特集を組んでいます。一回目は期待を込めて特集にしたのですが（『岸田内閣、成

功の条件』 <https://www.amazon.co.jp/dp/B09M53FLPX>）、その期待は全てきれいに裏切られる事になりました。つまり彼は、その「成功の条件」をことごとく綺麗に、完璧に、完膚なきまでに裏切っていたわけです（苦笑）。

そして、昨年9月号では、

『岸田文雄は、安倍晋三の思いを引き継げるのか？』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B0B8RLKMKS/>

という特集を組みましたが、この時点で、今年の特集と同様、岸田文雄のつまらなさをかなり濃密に特集する内容となっています。

が、これらはいずれも、はっきり行って、さっぱり売れなかったのです…。

いずれの号も、岸田がつまらない男過ぎて、国民の皆さんが、本格的関心を岸田に向けられなかった、というのが原因と思われます。

とはいえ当方、岸田の男としてのつまらなさを一人でも多くの国民に届けなければ、という崇高な使命感（！）の下、上記の雑誌やSNS、テレビのみならず、ラジオの「おはよう寺ちゃん」なんかでは毎週、岸田のつまらなさを表現するネタ（笑）を毎週毎週洋続けて参りました。

あまりに岸田を小馬鹿にしたネタばかりやるので、某筋から「藤井さん、ホントやばいよ。あれ、官邸の人見てるから、ちょっと直接バカとかアホ

とか言うのはやめてよ。一応官邸って警察権力もってたり怖い組織なんだから、ちょっとだけ控えた方がいいよ？」とたしなめられたり（というか脅されたり？）する程でした。

一応、それ以降は直接岸田批判をしているとは、特にバカだアホだところちらが思っているということについては（分かるけどw）『口では直接言わない』ようにする、という方式に転換しました。が、それでも今でも、しつこく、岸田を小馬鹿にするネタはずっと続けています。

それもこれも、日本が救われる最大の喫緊の課題は、「岸田おろし」であるという確信が当方にあるからですが…そうした当方のささやかな取組がどれだけ影響したのかさっぱり分かりませんが、ようやく、岸田もイライラし始めた、というのが、今回目にしたニュースだったわけで、当方としては、少々気分が良いニュースだった、というわけです。

何と言っても、報道曰く…

『選挙に勝てない総裁は降ろされる――。岸田首相は今、菅義偉前首相と同じ道を歩んでいるという。「菅前首相は、補選で負け続けた結果、辞任しました。岸田首相についても、年内に支持率が回復しなければ党内の岸田離れが加速。総辞職の流れに巻き込まれると見る向きが台頭しています」』

いやあ～～、良い記事ですねえ～～(^-^)

これからもどんどんどんどん、国民の皆さんに岸田を嫌いになってもらいたいと思います！！！！

もちろん、岸田の後にいい人が総理になる保証があるのか！？なんて声があるのは百も承知。

そんな保証なんて有るはずはありません。っていうか、かなり絶望的な状況ではあります。

が、少なくとも、今、発症してしまった病気があるなら、その病気の回復に全力をつくさないと、死んでしまいますよね。

だから、仮にこの病気が治ったところで次の重い病気がやってくることが見込まれているとしても、今の病気を治すことに全力を投入しなければならないわけです。

岸田文雄総理就任というのは、日本にとってはそれほどまでに深刻な病気の様なもの、なのです。

…ということで、今日もまたコツコツコツ、岸田のつまらなさを一人でも多くの国民の皆様にご理解頂くべく、努力を重ねて参りたいと思いますw

では、引き続き、よろしくお願ひします！

(今日は久々に、有料コンテンツならでの、特定個人に対する悪口てんこ盛りの記事、となりました。ご一読、ありがとうございましたm(_ _)m)

追伸1：ミッチェルとの東京&京都でのイベント、まだまだ席に余裕がありますから是非、ご参加下さい！お待ちしております！

■10月31日『三沢カツチカ(藤井)×ミッチェル』ライブ@京都

<https://the-criterion.jp/mail-magazine/231012/>

■11月17日『デフレ時代の財政論』セミナー@東京

<https://the-criterion.jp/symposium/231117-19/>

追伸2：筆者（藤井聡）へのご意見、ご感想は、このメールアドレス宛てにお送りください。